



# 「ちょっと お抹茶で一服」



- ◆講師：日本茶インストラクター 成田 幸世さん
- ◆日時：9月14日(土) 午後3時～5時
- ◆場所：織部亭 (tel 0586-76-1993)
- ◆会費：1500円 (抹茶・お菓子付き)
- ◆定員：20名(事前予約をお願いします)

この尾張地方は、昔から日常的に抹茶が飲まれていました。お客さんがあった時はもちろんのこと、普段の3時のおやつの時間、それどころか野良仕事の合間にも畑にお茶の道具を持っていき、抹茶を点っていたそうです。今でもよそのお宅に行った折など、話をしながら、ポットのお湯などでひょいっと抹茶を出して下さったりします。

あんな風に自然に抹茶を出してみたいのだけど、お客さんに出すときはどうしたらいいの？ おいしいお抹茶を点てるコツは？ お菓子はどんなものが合うの？ 何を用意したら？ など、慣れないと、いろいろなことが気になりますよね。

今回は日本茶インストラクターの成田幸世さんをお迎えし、気軽な抹茶の楽しみ方を紹介していただき、みんなで実際に抹茶を点ててみます。成田さんは、お茶が大好きで、お茶の種類、産地、加工法、楽しみ方など幅広い知識をお持ちですから何でも聞いてください。

抹茶は健康にもいいと言われていきますし、この地元の文化でもあります。この機会にぜひ抹茶に親しんで、お客さんに出したりできるようになってみませんか？

## いちのみや大学講座「ちょっと お抹茶で一服」

- ◆日時：9月14日(土)午後3時～5時
- ◆場所：織部亭 一宮市島崎一丁目 11-19  
(tel 0586-76-1993)  
駐車場有
- ◆会費：1500円(抹茶・お菓子付き)
- ◆定員：20名(要予約)



### ◆お問合せ・お申込み：

ホームページから <http://ichinomiyaigaiku.com/>

または、いちのみや大学事務局(有限会社人の森 内)

メール [info@ichinomiyaigaiku.com](mailto:info@ichinomiyaigaiku.com) 電話 080-4227-8641 / FAX 0586-72-5445

## ◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、一宮の街をまるごとキャンパスとして、  
一宮周辺で様々な分野の知識を持つ人に講師をお願いし、  
一宮の地域資源を生かし、  
一宮の街の様々な場所を教室に、  
ともに豊かに学んでいこうという生涯学習の市民活動です。

### ◆◆これからの講座の予定は？

月日	曜日	場所	講師	内容
8月4日 10:30～	日	織部亭 一宮市島崎一丁 目11-19	ラッピング協会講師 竹林 紀子さん	心をつたえるラッピング 受講料 1500円(材料費・ドリンク代を含む)
9月14日 15:00～	日	織部亭 一宮市島崎一丁 目11-19	日本茶インストラクター 成田 幸世さん	ちょっと お抹茶で一服 受講料 1500円(抹茶・菓子代を含む)

これまでに開催した講座：デジカメ講座、シャンソン、アフリカの音楽、ジャズピアノ、ヴァイオリンについて、古典落語、アートについて、洞窟探検の魅力、ネパール料理、韓国料理、日本茶、おから味噌、うすずみ桜と真清田神社のなぞ、織田信長のこと、美濃路・起宿について、船橋楽器資料館、プラネタリウム、葛利毛織、妙興寺、尾西繊維協会ビル等の見学など

### ◆いちのみや大学の講座は、どこで知ることができるの？

#### ・いちのみや大学ホームページ

<http://ichinomiyaigaiku.com> で、学生登録(無料)をしていただくと、新しい講座の案内を月1回、メールでお知らせします。

登録方法→いちのみや大学ホームページの上部にある「**学生登録**」のボタンをクリックし、受講者登録をしてください。受講したい時は、ログインして、受講したい講座名をクリックし、講座詳細のページの下にある「**受講予約を申し込む**」のボタンを押すと、受講の申し込みができます。

#### ・チラシ

市役所(各庁舎)、市民活動支援センター、尾西歴史民俗資料館、三岸節子記念美術館、一宮市博物館、織部亭、野の花、三八屋、馬宿、ヘアー・シャンティなどで配布

#### ・中日新聞など

中日新聞『おでかけガイド』(金曜日に掲載)

中日新聞ミニコミ紙『タウンニュース』(毎月1日発行 一宮北部専売所 末広、富士、貴船学区方面)、『ほっと！タイムス』(毎月15日発行 一宮市西部、萩原、戸塚、大和、西御堂地区販売店)などに掲載しています。